

総合評価結果報告書

| | | | |
|-------------------------------------|---|----|---|
| 施設の名称 | 静岡市由比本陣施設 | | |
| 課名 | 観光政策課 | | |
| 指定管理者名 | 特定非営利活動法人 ふれあい由比 | | |
| 指定期間 | 令和3年4月1日～令和8年3月31日 | | |
| 評価委員会 開催年月日 | 令和7年6月9日(月) | | |
| 評価委員 ※()内は職名 等を記載してく ださい。 | ①委員長 松浦 康弘(観光政策課長) ②委員 望月 雅乃(文化政策課長) ③〃 平野 英彦(歴史文化課長) ④〃 大竹 英雄(静岡商工会議所 中小企業相談所 商工観光課長) ⑤〃 坂野 真帆(株式会社そふと研究室 代表取締役) | | |
| 評価点 (各委員平均点) | 77.0点 | 評価 | B |
| 評価結果詳細 | 別紙「総合評価結果総括表」のとおり | | |
| 総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見 | 由比地区に根ざした指定管理者として、地域と協働しながら地域の振興に寄与している点は評価できる。またスタッフの対応については、アンケート結果の検証を行い、来館者への声かけの強化を行うことで、来館者の満足度の向上につなげている点なども評価できる。しかし、広報活動の注力先として、由比地区に限定されている傾向があるため、地区外への広報活動にも力を入れ、由比地区の情報発信拠点としての役割を期待したい。 | | |

総合評価結果総括表

施設の名 称 [静岡市由比本陣施設] 課名 [観光政策課]
 指定管理者名 [特定非営利活動法人 ふれあい由比]

| | A 評価 委員 | B 評価 委員 | C 評価 委員 | D 評価 委員 | E 評価 委員 | 平均 点 |
|--|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------|
| 1 履行状況の確認 【配点50点】 | | | | | | |
| (ア) 事業計画書等に示された事業が予定どおり、円滑に実施された。(10点) | 6 | 8 | 8 | 8 | 8 | 7.6 |
| (イ) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施された(10点) | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8.0 |
| (ウ) 収支状況において、概ね予算どおりに執行されており良好であった(10点) | 8 | 7 | 8 | 6 | 6 | 7.0 |
| (エ) 自主事業やイベント情報について積極的な広報宣伝を実施した(5点) | 2 | 4 | 3 | 4 | 4 | 3.4 |
| (オ) 地震・停電等の災害・事故発生時の危機管理体制を整備しており、発生時には迅速かつ的確な対応を行った。(5点) | 3 | 4 | 3 | 4 | 4 | 3.6 |
| (カ) 運営に必要な人員配置が適正に行われた。(5点) | 3 | 4 | 4 | 3 | 4 | 3.6 |
| (キ) 設定した目標が達成された(5点) | 3 | 4 | 3 | 2 | 4 | 3.2 |
| 小 計 | 33 | 39 | 37 | 35 | 38 | 36.4 |
| 2 指定管理者の創意工夫 【配点15点】 | | | | | | |
| (ア) 地元の物産等を紹介する事業が実施された。(5点) | 4 | 4 | 5 | 3 | 5 | 4.2 |
| (イ) 市民等と協働した体験教室等が実施された。(5点) | 3 | 4 | 4 | 3 | 5 | 3.8 |
| (ウ) 入館者の増員に対する自主的な取り組みが実施された。(5点) | 5 | 5 | 4 | 3 | 4 | 4.2 |
| 小 計 | 12 | 13 | 13 | 9 | 14 | 12.2 |
| 3 市民(利用者)のサービスの向上 【配点15点】 | | | | | | |
| (ア) 職員の利用者に対する対応が親切丁寧であり、利用者に安心感を与えるとともに、利用者の信頼感が得られるよう努めた(8点) | 6 | 7 | 6 | 7 | 6 | 6.4 |
| (イ) 職員の対応力向上に努めるとともに、利用者の苦情等には速やかに対応した(7点) | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | 5.8 |

| | | | | | | |
|--|---------|----|----|----|----|------|
| 小 計 | 11 | 13 | 12 | 13 | 12 | 12.2 |
| 4 施設固有の評価項目 | 【配点20点】 | | | | | |
| (ア) 地元の団体等と協力・連携した事業を実施した (7点) | 7 | 6 | 7 | 6 | 7 | 6.6 |
| (イ) 周辺地域の観光案内等の情報の提供を適正に実 施した。(7点) | 5 | 5 | 6 | 5 | 4 | 5.0 |
| (ウ) 同一敷地内東海道広重美術館の指定管理者と連 携・調整し、円滑な施設の維持管理に努めた。(6 点) | 5 | 5 | 4 | 5 | 4 | 4.6 |
| 小 計 | 17 | 16 | 17 | 16 | 15 | 16.2 |
| 合 計 | 73 | 81 | 79 | 73 | 79 | 77.0 |

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

| |
|---|
| 【A評価委員】 |
| 由比地区に根ざした団体として、地元の他の団体とのつながりやネットワークを活かした本指定管理者ならではの事業を実施しており、かつ来館者の増加に向け、思考をこらした様々なイベントを実施している点は評価できる。一方、広報、PRについて由比地区への情報発信は十分に行われているものの、地区外へはホームページや広報しずおかへの掲載に留まっていることから、より幅広い誘客に向けた取組が望まれる。コロナ禍前の来館者数にまでまだ戻せておらず、そこを目指していくということでもあるので、指定管理者の強みを活かした今後の対策や取組に期待している。 |
| 【B評価委員】 |
| 同じ敷地内の東海道広重美術館と、毎月意見交換を行っていることは事業の幅が広がることにもつながり、よいと思う。 |
| 【C評価委員】 |
| まず、由比地区以外への広報が必要と感じる。地元の方々と連携して事業はできているので、インバウンドへの対応を強化して欲しい。 |
| 【D評価委員】 |
| 交流館の来館者数が目標値に届いていないが、利用者増加に向け新しいイベント、インバウンドに向けた座禅体験ツアーなどを実施していくとのことであったので、期待したい。由比地区外への広報手段は静岡市の広報紙のみとのことであったので、デジタルの活用などに取り組んでいただきたい。 |
| 【E評価委員】 |
| 本陣施設の中で交流館の位置づけを考えると、地域内の交流拠点としての機能に加え、観光案内所的な機能が備わる必要がある。御幸亭、美術館を活かして連携したい。オープンな施設である交流館については、来訪者の利便性向上、安全性確保についても意識を高めていただけるとよいと思う。 |
| 評価委員会としての意見 |
| 由比地区に根ざした指定管理者として、地域と協働しながら地域の振興に寄与している点は評価できる。またスタッフの対応については、アンケート結果の検証を行い、来館者への声かけの強化を行って満足度の向上につなげている点なども評価できる。しかし、広報活動の注力先として、由比地区に限定されている傾向があるため、地区外への広報活動にも力をいれ、由比地区の情報発信拠点としての役割を期待したい。 |